

## 北陸大学図書館報

NO.57



## ◆◆ 一冊の本から始まる人生の旅 ◆◆

図書館長・薬学部教授

大黒 徹

私が初めて海外に行ったのは結構遅く、27歳になってからであった。当時、私は大学院生で、指導教官の勧めで英国スコットランドのエディンバラ大学での国際会議で発表することになった。今から30年以上前のことだったので旅費等は自費だったがその代わり少し遊んで来ても良いという嬉しい言葉を頂いた。海外は初めてなので、色々な人にアドバイスをもらっていた。ある時、バーでその話をしたところ、店長から一冊の本を渡された。ウォーレス・ミルロイ著「スコッチモルト・ウイスキーガイド」。スコットランドのウイスキー蒸溜所の見学者向けの本だった。ただのガイドブックかと思ったが、言語や文化、歴史などもちりばめられていて意外にも読んでいて面白かった。それまではスコットランドといえば、「ネッシー」のネス湖ぐらいしか知らなかったのだが。

1990年代初頭、スコットランドには100近いウイスキーの蒸溜所が現存していた。ウイスキー不況で閉鎖や休業している所も結構あったが、見学可能な所も半数近くはあるようだった。ただ、アポイントメントを取らないといけない蒸溜所もあり、私でも知っていたプレミアム・ウイスキーのMacallan蒸溜所は電話予約が必要となっていた。頁をめくっていくと、蒸溜所名の最初にGlen-という語が多いことに気づいた。世界で一番売れているGlenfiddichのglenは現地地の古い言葉であるゲール語で「谷」を指し、fiddichは「鹿」の意味とか。1707年にスコットランドはイングランドに併合され、ウイスキーを飲まないイングランド人はスコットランドのウイスキーに重税を掛けた。スコットランドのウイスキーの造り手達は密造に走り、酒造りに欠かせない水を得るために必然的に密造場所は溪谷となった。そうすると、The Glenlivetは「リベット谷」というわけか。なぜtheがついているのか？ Glenlivet蒸溜所は1824年に他に先んじて密造をやめ最初に政府に公認された第1号の蒸溜所となった。そのためスコットランドのウイスキー＝Glenlivetと世界中に認識されることになった。他のウイスキー蒸溜所もGlenlivetの名前を付けないとスコッチウイスキーと思われたいため、あのMacallanでさえ、20世紀までのボトルにはMacallan-Glenlivetと書かれていた。どこもかしこもGlenlivetの名を付けるので訴訟になり、裁判所がtheを付けることをGlenlivet蒸溜所に許可したとか。何だか複雑な話だったが興味も湧いてきた。ネス湖に行けばと思っていたが、本を渡されたからには報告のため蒸溜所にも行くことにした。

エディンバラからまずはネス湖に向かった。思っていたより遠く、既に1日目は暮れかかっていた。万が一、ネッシーが出てきたら喰われるかもと心配だったが、その日はネス湖の湖畔で野宿した。寒さで眠れず日の出前に移動を始めた。途中、シェイクスピアの「マクベス」の舞台になったCawdor城を過ぎ、やがてLivet川まで来たところで1軒蒸溜所が見えてきた。The Glenlivetに間違いはないだろうと思い蒸溜所の受付で見学を申し込んだ。最後まで案内してもらってから、予想していたより規模が小さいことに気づく。蒸溜所名はTamnavulin-Glenlivet。理解していたはずなのに間違えた。The Glenlivetのお隣さんの蒸溜所だった。急いですぐ本命の蒸溜所へ移動したが既にお昼になっていた。さすがは英国政府公認第1号蒸溜所、緑を基調とした色合いがとてもよく似合う。一通りの説明と見学を経て、この日の最後にGlenfiddich蒸溜所にも行ってみた。

何とかウイスキー蒸溜所訪問のミッションを終え、エディンバラに戻った。2日間無泊でスコットランドを駆けずり回ったが、やっと一つの旅が終わったと安堵の気持ちでエディンバラ城の土産物屋に入った。そこで一冊の本が目にとまった。Michael Jackson著「MALT WHISKY Companion」。この著者って歌手？と思ったがビールとウイスキーの評論家だった。ウイスキーの評価が点数で書いてある。Glenfiddichは75点でMacallanは95点。こんな本が有ったのかと衝撃を受け購入した。一つの旅が終わったと思った瞬間、既に次の旅は始まっていたのだ。

これらの本の影響か、7年後の1999～2001年には英国に留学、60以上の蒸溜所を見学し、Michael Jackson氏とも親しく話ができるまでになった。一冊の本の影響で自分の人生がどう展開するかは、後になってみないとわからない。皆様も一冊の本との出会いを大切に。人生の旅のきっかけとなる本がすぐ隣にあるかもしれないから。



## ◆◆ 図書館ってこんなところ！おすすめの図書館活用方法 ◆◆

☆図書館をよく利用する学生が、おすすめの図書館活用方法を紹介します☆

### 大学図書館の活用手引き～薬学部6年間を振り返って～

薬学部 薬学科 6年次生 宮崎 琴音

現在薬学部6年生の私が大学生生活を振り返ってみて、無くてはならなかったと思う場所が図書館です。この場をお借りしまして薬学部生視点での6年間の図書館活用方法を書こうと思います。後輩の皆さんにとって今後の参考になれば嬉しいです。

#### ～1.2年次～

薬学部に入って不安だったのが勉強でした。ゴールに薬剤師国家試験があるため勉強は続けていかなくてはと一方、家は誘惑が多くて集中できず、どこか勉強できる場所があればいいなと考えていました。そこで見つけたのが薬学部分館の4階です。この場所は平日だと8時30分から20時まで利用可能で、学習道具を十分に広げられる大きな机の他に自分の学習に集中できる区切られた半個室スペースがあります。木目調で統一された内装で静かな環境のため学習に集中することができました。授業が終わったら友人と図書館の4階に行って復習してから帰るという習慣を持たせたおかげで、定期試験は一度も落とすことなく長期休みに入ることができました。また、薬学部分館には医療系のマンガが取り揃えてあります。私は物理選択で生物に対して苦手意識があったので「はたらく細胞」などをよく手に取っていたのですが、人体の仕組みに親しみを持って良かったと感じています。図書館では定期的に「選書会」や「読書感想文コンクール」などのイベントも行われており、本とより深く向き合える機会があります。社会人になると本を読む時間が取れないとの話も聞いたので、イベントに参加することで学生のうちから本と関わりを持って良かったと思います。

#### ～3.4年次～

3.4年次は薬理や病態など専門性が増してより学習内容が複雑になってきます。図書館にはわかりやすく図解した本が多数取り揃えられており、試験勉強の際に活用していました。特に「薬が見える」シリーズは分かりやすいのですが1冊の値段も高く、分厚くて重いです。図書館では蔵書数が多かったため、使いたいときに読むことができてとても便利でした。またCBTの対策では「コアカリ」で学習するのが一般的ですが、一問一答の形式で暗記が得意でない私にとっては勉強しにくい形式だったので「青問」を使って関連問題をまとめて演習していました。青本等は基本的には自分が国家試験を受験する年度の頭に購入するので、図書館で利用できるのがありがたかったです。

#### ～5.6年次～

5年生は既に研究室に配属されており、研究も行うので図書館を使う人は減る傾向にあります。しかし、研究にこそ図書館は活用すべきだと私は思っています。まず、OPACというオンラインの蔵書検索システムを使うことで家や研究室にいながらも図書館所蔵の本を確認できます。さらには論文検索もできます。医中誌Webというデータベースは国内随一の医学論文データベースとして知られており、文献検索を進める上で必要な機能と論文がそろっています。本来は有料なのですが大学図書館の契約により、大学の学内LAN経由であれば無料で利用できます。また、検索して出てきた論文にも有料のものがあり、高額のものも少なくありません。しかし、図書館が紹介するID/PWを入力すれば必要な論文のダウンロード費用を大学が負担してくれます。ガイダンスで紹介されていたのですが、忘れていた方も多そうです。私は実際にいくつか論文をダウンロードさせていただきました。研究に生きて本当におすすめなのでぜひ利用してみてください！

図書館には空間としても機能としても大学生の学びを支えてくれる場所だと思います。私は大学図書館があって本当に良かったと感じています。みなさんも自分に合った図書館の活用方法を見つけて大学生生活を充実させてください！

---

## 実は本を借りるだけが図書館じゃない！

経済経営学部 経済学科 1年次生 細川 岳人

皆さんは図書館を利用したことはありますか？

私はまだこの大学に来て半年しかたっていませんが、自分なりに図書館の使い方を考えてみたいと思います。図書館は本を借りることがメインです。ですが、図書館内で勉強をすることは悪いことではありません。学内で課題に取り組むと騒がしいことがあります。しかし、図書館に行けば静かな雰囲気のなかで真剣に集中して課題に取り組むことができます。

また、図書館内には、本がたくさん置いてあるため、課題でわからないことがあった際に、本を使って調べることができます。今は、スマートフォンがよく使われ、インターネットから情報を得る時代ですが、本に書いてあることはインターネットで調べたことよりも正確性に長けていると思います。確かにスマートフォンで調べるよりも本を使って調べた場合、時間がどうしてもかかってしまい面倒だと感じる人も多いと思います。しかし、時間がかかったとしても課題を終わらせた後に頭に残りやすいのは本で調べた時だと私は思います。

また調べている最中に面白いと思える本と出会えるチャンスがあるかも知れません。私が出会った本の中でも特にお薦めなのは『DUEL(デュエル)―世界に勝つために「最適解」を探し続ける』(遠藤航著,ワニブックス,2022)という本です。これから大学生活を送る中で、何らかのヒントを与えてくれる本だと思います。

自分の欲しい本が見つからない際には、図書館内にいる先生方に聞き一緒に探してもらうこともできます。また、図書館に所蔵がない場合でも、石川県内図書館ネットワークや相互利用、学生リクエストといったサービスを活用することで取り寄せることができます。

課題に取り組む機会にもう一冊本を読んでみるなど、ぜひ大学生の間に本に触れてみませんか。



---

## 4年間の図書館利用方法

経済経営学部 マネジメント学科 4年次生 高村 勇気

皆さんは、図書館をどれくらい利用していますか？図書館をうまく活用することができれば、学生生活をより良いものにできます。今回は、北陸大学図書館の利用方法と私が4年間図書館を利用して感じた魅力について述べたいと思います。

最初に、北陸大学図書館の利用方法について述べます。入館する際は学生証をかざすことで入れるようになっています。館内の本は分類別や目的別に配架されており、探しやすいレイアウトになっています。また本を探す際には、図書館のホームページから蔵書検索システム(OPAC)を利用すると、探したい本を簡単に見つけることができます。もし読みたい本がなかった場合も石川県内図書館ネットワークを活用することで、北陸大学に所蔵のない本を取り寄せることもできます。さらに北陸大学図書館では、学生リクエストサービスも実施しており、購入してほしい本をリクエストすることもできます。

次に北陸大学の図書館を利用して感じた魅力を三つ述べます。一つ目は、読書習慣が身につくということです。私は、高校までは、本を読む習慣がありませんでした。しかし、漫画や雑誌があるという理由で図書館を利用している間に本を読んでみようという気持ちになりました。本を読むことが好きでない人も図書館を利用している間に本を読んでみようという気持ちになるかもしれません。北陸大学図書館では、新しい本や雑誌も置いてあるので、一度行ってみてください。

二つ目は、落ち着いた空間で学習できる点です。北陸大学図書館には、自習できる環境が整っており、静かに集中して課題や勉強に取り組むことができます。私は、本館（太陽が丘キャンパス）の3階と4階の自習スペースを利用していました。課題や勉強に集中できるうえに、分からないことは直ぐに本で調べることができます。

三つ目は、友人や知り合いができることです。北陸大学図書館では、お薦めの本紹介や読書感想文・書評コンクールなどのイベントを開催しています。その様なイベントには、読書好きの学生が参加しているため、他学部の学生とも友人になれるかもしれません。私は、大学1年生の時に読書感想文・書評コンクールの授賞式に参加した際、大学職員の方と親しくなり、大学4年生になった今でもお世話になっています。交友関係を広げるためにも図書館のイベントに参加することをお勧めします。

以上のように、図書館を利用する魅力は、多くあります。大学生活をより充実したものにするためにも、まずは北陸大学図書館を利用してみてください。



## 図書館を利用するようになったきっかけ

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 3年次生 石黒 有加

皆さん普段から図書館を利用していますか？いつ・どんな風に利用していますか？今日は私の図書館の活用方法を紹介したいと思います。

私が図書館を利用するようになったのは3年生になってからです。いままでは図書館はどこかまじめで、静かすぎて落ち着かないなと思ってあまり利用していませんでした。そんな私が図書館を利用するようになったのは2つのきっかけがあったからです。

1つ目は本を読む面白さに気づいたからです。つい最近まで本を最後まで読めませんでした。本を読んでいると途中で飽きたり、眠くなってしまったりしていたからです。ですが、3年生から通学時間が約2時間になりスマホをいじるのも退屈だなど思うことが増えるようになりました。その時たまたま SNS でおすすめの本特集をみて読んでみようかなと思ったことがきっかけでした。

実際に本を読んでみると頭の中に物語の情景が思い浮かび、その物語の中に入り込んだ気分になり、それがとても面白いと感じるようになりました。他にも、知らなかった言葉や表現の方法を知ることができ、本を読むことに面白さを感じるようになりました。そこからその特集にあった本や図書館で実際に手に取って興味を持った本を借りるようになりました。また、電子書籍もあるので、本を借りるのは持ち運びが重くて大変だと感じる人でも気軽に本を読むことができるのでおすすめです。

2つ目は、自分のことに集中できるからです。図書館は自習学習スペースが多いため、自分の好きなところで気分に合わせて場所を変えながら、課題や勉強に集中して取り組むことができます。パソコンやタブレットを使いたいときでもテーブルの近くにコンセントが設置されているため充電を気にする必要もありません。また、TOEICなどの検定の参考書も充実しているため空きコマや休み時間に借りて少し勉強したり、気になっている参考書を買う前に自分に合うかどうか試したりすることもできます。特に私が気に入っている場所は、STUDY ROOM です。この場所は机同士が壁で区切られていて、静かな空間なので人の視線や気配を気にせず勉強することができます。

今回は私が図書館を利用するようになったきっかけを紹介しました。

図書館にはたくさん本や参考書、サービスがあります。そのためこの文章がみなさんの図書館を利用するきっかけになればいいと思います。私自身これからも図書館を利用していきたいです。



TOEIC コーナー (2F スタディルーム内)

## 4年間を通して感じたこと

国際コミュニケーション学部 心理社会学科 4年次生 庄本 萌恵

4年間、北陸大学の図書館を利用してまず思ったのは、「居心地の良さ」です。勉強はもちろん、空きコマの時間潰しや1人で静かに過ごしたい時、そんなときに思わず立ち寄りたくなる場所でした。

また、心理学検定やTOEIC等の資格取得を考えている学生さんには、ぜひ大学図書館の利用をお勧めしたいです。心理学検定では、心理学の用語や知識に関する理解だけでなく、心理学の歴史など多角的に学習する必要があります。本学図書館では、心理学検定対策の参考書が置かれているので、学校にいるときにふらっと立ち寄って勉強するのもいいかもしれません。TOEICの試験対策本では、リスニングの参考書だけでなく、文法や単語帳なども数多く揃えてあるため、自分に合う参考書が少なくとも1冊は見つかるかもしれません！

そして、みなさん知っていましたか！？本学の図書館では、DVDを貸し出しています(※注)。この事実を、私が大学2年の時に、何気なく大学の図書館を立ち寄った際に知りました。最近では、サブスクリプションで映画やドラマを見るのが主流になりつつありますが、全ての作品を網羅していることはありませんよね。もしかしたら、大学の図書館で見たかった作品が無料で貸し出しできるかもしれません！よければ、立ち寄って確認してみてください。

4年間を通して、本学の図書館は、本による学びの提供だけでなく、気持ちよく図書館を利用できるような環境づくり、DVDの貸し出しなどをはじめとした、教養を目的とした娯楽を学生に提供していると感じました。

本学の図書館は誰もが穏やかに過ごせる空間が整っていると思います！本を借りる目的以外にも、日頃の勉強場所や1人で静かに落ち着く場として、ぜひ利用してみてください！！

(※注)

著作権処理が済んでいるDVDのみ貸出可能となっています。それ以外は館内閲覧のみ可能です。



国際コミュニケーション学部 心理社会学科の図書コーナー



## 大学生におすすめの図書館活用方法

医療保健学部 医療技術学科 3年次生 中多 萌

北陸大学生の皆さん、こんにちは！今回は、私が皆さんにおすすめする図書館活用方法についてお伝えしたいと思います。

一つ目は、「CiNii Research」の利用です。これは、多様な外部データベースと連携して文献だけでなく、研究データ、研究プロジェクト情報などを気軽に横断検索することができる検索ツールです。そのため、国内の学術論文を読みたいけれど、どの検索ツールがいいのか分からず困っているという方におすすめです。皆さんは、ガイドランスなどで Google Chrome で北陸大学図書館の蔵書検索(OPAC)をブックマークに登録していると思うので、そこをタップしてみてください。OPAC では様々な検索ツールを利用することができるので、その中から CiNii Research を選択して、活用してみたいはいかがでしょうか。

二つ目は、「医書jp オールアクセス」の利用です。これは、医学・薬学・リハビリテーションなどの分野を中心とした国内の 111 誌、約 59 万件の論文の閲覧・ダウンロードが可能な電子ジャーナルであり、学内外からいつでも閲覧することができます。そのため、医療系のレポートを書く際、インターネットで参考になりそうな文献を見つけたものの、それが有料だったため見られなかったという経験がある方におすすめです。4月に、学生支援システムでアクセス URL や学内外での利用方法等が案内されますので、医療系の学生の皆さん、活用してみたいはいかがでしょうか。

三つ目は、本館（太陽が丘キャンパス）2階の STUDY ROOM の利用です。私は、ここで空きコマや放課後にレポートを書くことが多いです。ここには、机同士が壁で隔てられている場所があり、静かな空間で人の視線を感じることなく勉強することができます。そのため、1人で集中して勉強や読書をしたいという方におすすめです。また、各机にコンセントが2つずつあるため、パソコンやスマートフォンを充電しながら、レポートを書くことができます。さらに、蓋の閉まる飲料ならば持ち込み可能であるため、時々飲み物を飲んでリフレッシュしながら、学習を進めることもできます。

今回は、レポート・卒業論文作成に活用できる CiNii Research と医書jp オールアクセス、学習・読書場所として活用できる本館2階の STUDY ROOM をおすすめしましたが、図書館にはこれらだけではなく、様々なサービスや学習・読書スペースがあります。今まで、図書館へ行ったり、サービスを利用したりする機会がなかった方も多いと思います。しかし、これを機会に図書館内を探検したりサービスを利用したりすることで、お気に入りの場所やサービスを見つけてみてはいかがでしょうか？正直、私自身、まだまだ図書館を活用し切れていないため、これからも図書館に通い、自分に合った活用法を模索していきたいと思っています。

私の文章が皆さんの図書館利用のきっかけになってくだされば、幸いです。

※文中で紹介のあった URL はこちら※

CiNii Research	フリーで検索が可能	⇒ <a href="https://cir.nii.ac.jp/ja">https://cir.nii.ac.jp/ja</a>	
医書 jp オールアクセス	(ID・PW は図書館までお問い合わせください。)	⇒ <a href="https://webview.isho.jp/journal">https://webview.isho.jp/journal</a>	



# 私の図書館利用方法

医療保健学部 理学療法学科 2年次生 亀田 知里

みなさんはどのように図書館を利用していますか？もしかしたらアルバイトやサークルなどで忙しく、図書館をあまり利用しないという人もいるのかもしれませんが。ここからは私の図書館の利用方法について紹介していきたいと思います。

私は主に図書館を勉強する場所として利用しています。自宅で勉強しようとするスマホやテレビといった誘惑に負けてしまい、集中力がなかなか持続することができません。しかし、図書館は自宅とは違って静かで落ち着きやすい空間であり、集中して勉強に取り組むのに適した場所だと思います。

また、私の所属している理学療法学科は実習や演習の授業が多いため、1週間に何教科ものレポートを書かなければならないということも多々あります。そのときに図書館にある理学療法関連の本を参考にしてレポートを書いています。みなさんの中にも、大学生になってレポートを書く機会が増えたという人は多いのではないかと思います。レポートを書いていると途中で、内容が足りないと感じたり、行き詰まったりしたことはありませんか？そんなときに図書館にある資料を参考にすると、より良いレポートを作成することができるかもしれません。さらに図書館には専門性の高い本がたくさん所蔵されているため、講義で「これってなんだっけ？」や「詳しく知りたい！」などと感じたときに図書館に行くと調べることができるというのも利点です。

ところで、みなさんは北陸大学OPACという蔵書検索システムを知っていますか？OPACでは自分の調べたいキーワードを検索すると、キーワードに関連する本の一覧を見ることができます。さらに、そこに表示された本を選択すると、所在情報や書評などを見ることができます。つまり、レポートやグループワークの参考資料を容易に見つけることができるという便利なシステムです。またこの書評は過去にその本を読んだ人が、その本についてのレビューを書いています。このOPACを利用すると、自分の興味のある本に出会いきっかけにもなると思います。みなさんも是非活用してみてください。

最後に、最近本に触れる機会が少ないという人も多いのではないかと思います。私は本を読むことが好きで、時間がある時に本を読んでいるのですが、本は新しい価値観や考えに出会えるきっかけになるものだと考えています。みなさんも時間があるときに図書館に行って、たくさん本に触れて自分の価値観を広げてみてはどうですか？そしてこれを機会に、多くの学生が図書館に足を運んでくださるとうれしいです。

## OPAC



## 所在情報



## 書評



## ◆◆ 寄贈図書 ◆◆



本学の役員・教職員から、下記のとおり図書の寄贈がありました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

編集		寄贈者
『薬学生のための病態検査学 改訂4版』他	計3冊	三浦 雅一 (理事・薬学部教授・地域連携センター長)
共著		寄贈者
『21世紀型リベラルアーツと大学・社会の対話』	計1冊	杉森 公一 (高等教育推進センター長・教授)
『大学生のためのキャリア・デザイン』	計1冊	森田 聡 (経済経営学部准教授)
記念誌		寄贈者
『三浦雅一教授退任記念誌』	計3冊	三浦 雅一 (理事・薬学部教授・地域連携センター長)
その他		寄贈者
『ゆうびんの父』他	計2冊	泉 洋成(理事)
『生成AIで世界はこう変わる』他	計7冊	三浦 雅一 (理事・薬学部教授・地域連携センター長)
『シャーロック・ホームズの凱旋』他	計3冊	鈴木 久仁恵 (管理本部長)
『リラの花咲くけものみち』他	計11冊	田邊 良和 (学術情報課長)



北陸大学図書館報 No. 57 令和6(2024)年12月2日発行

編集・発行：北陸大学図書館 〒920-1180 金沢市太陽が丘1-1 TEL. 076-229-3021 FAX 076-229-4850

Eメール：lib@hokuriku-u.ac.jp 北陸大学図書館ホームページ：<https://www.hokuriku-u.ac.jp/library/>

長期ビジョン 北陸大学 Vision50 (by2025) ……2025年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。